

「エコテックス (CSM[®]-2000) 標準研究フォーラム」 第17

発行：「エコテックス (CSM[®]-2000) 標準研究フォーラム」 広報委員会

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-14-7 山形ビル3階

TEL 03 (3504) 9800 FAX 03(5157) 3180

E-mail eco-texj@k9.dion.ne.jp

URL: eco-tex.com.

2003年

1月6日

新年おめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

第6回セミナーのご案内

日時：1月24日（金）午後2時～6時（5時から懇親会）

ところ：エコテック・ジャパン株式会社

御挨拶 岡本会長

2:00～2:10

1 現状分析

2:10～2:50

品質（資料36枚）

休憩

2:50～3:10

環境（資料25枚）

3:10～4:40

貿易規制（資料7枚）

2 事務局より報告

4:40～5:00

2・1 平成15年3月18日『国際セミナー』開催実施計画について

2・2 その他

最近の情報について

懇親会

5:00～6:00

※ 今回で現状分析5項目が終了になります。

恐れ入りますが、セミナーご出席の方のお名前を20日(月曜日)までに事務局

にお知らせ下さい。ご協力をお願い申し上げます。

今回、企業紹介は、

株式会社エドウィン商事様、尾崎商事株式会社様、藤井毛織株式会社様
ブラザー工業株式会社様の4社をお届けします。

EDWIN®

1960年代はじめ、EDWINのJEANSは生まれました。

今では考えられないことですが、60年代に入るまで、日本にはジーンズメーカーがありませんでした。1957年にEDWINの前身であるK.K.TSUNEMIは、はじめて中古ジーンズを輸入し市場に卸しました。擦り切れていたり、よごれていたりしている中古ジーンズを補修し、洗濯して卸しました。

1959年、始めて日本市場に新品のジーンズが輸入されるようになりました。新品の輸入ジーンズは縮んだり、ゴワゴワしたり、はきづらい上に高価でした。

私達は、縮みがなく、はきなれたジーンズのように柔らかくはきやすいジーンズを適正な値段で市場に供給したいと考えました。私達がはきやすいジーンズを創り出せば、さらにジーンズは我々のファッションに定着すると考えたのです。

そのために、優れたDENIM生地、丈夫な縫製、体型にフィットするパターン、そしてWASHによる仕上げまでを独自に開発することに着手し、ジーンズブランドとしてスタートしました。1961年のことです。

JEANSの生地DENIMのアルファベット5文字を自由に並べ換えるとEDWINという5文字を創ることができます。新しい発想、自由な発想で、ジーンズの可能性を切り開いていく『ものづくり』のスピリットがEDWINの名に込められています。

以来、EDWINは時代とともに、DENIM開発、WASH加工開発、フィット開発、縫製技術開発等を行い、常に新しいジーンズを創りつづけています。



HISTORY

1980年代

1980年、世界で最も高いレベルに達した日本のデニム紡績技術と共に開発した、膝抜けしにくく、加工に耐えられるデニムを、石とミキシングマシンによる中古加工製法の開発によって、STONE WASHを完成させた。フィット性が高いカーブベルトを仕様したスリムジーンズ「ロンドンスリム」の新たなデビューにこのSTONE WASHを施し、ドイツで発表。ヨーロッパやアメリカでは無かった斬新な加工とフィットで、日本のジーンズ、デニム、加工のクオリティの高さが評価された。ロンドンスリムを含む、INTERNATIONAL BASICシリーズは、1982年、アメリカ、ヨーロッパでの販売に次ぎ、日本での販売を開始。1983年には、EDWINは日本国内ジーンズ売上第1位となる。

1990年代

1994年、NEW VINTAGEという新しいコンセプトのもとに、旧式織機の風合いとセルビッチ(生地の耳)、ポケットの補強布などのディテールと、現代的なストリートカジュアルにマッチするワイドシルエットを融合したジーンズ505を発売。この流れは単にヴィンテージブームではなく新たなコンセプトジーンズとして、ジーンズの個性化の波となり世界的な価値観となった。1997年、今迄にない柔らかくはき心地ときれいなダークブルーのDENIMを開発しベーシックの品質を進化させたジーンズとして503を発売。メンズ、レディース共に現在の定番となっている。

2000年代

2000年、携帯電話ポケットや立体裁断、色落ちしにくい DENIM 等、ファンクションをコンセプトにした E-FUNCTION E-2000 を発売。
2001年、東洋紡と共同開発した世界最強繊維 ZYLON を使った ZYLON DENIM を素材とする E-ZYLON EZ503 を発売。素材、機能、品質、デザインにおいても、ジーンズの新しい可能性に挑戦している。

PROFILE

■創業

1947年

■設立

1969年9月11日

■資本金

5,600万円

■代表者

代表取締役 常見修二



■社員数

503名

■本社所在地

〒116-8537 東京都荒川区東日暮里 3-27-6 株式会社エドウィン

TEL:03-5604-8900(電話受付:月~金曜日 9:00~17:30)

■ディビジョン(営業所)

東京ディビジョン 大阪ディビジョン 名古屋ディビジョン 札幌ディビジョン 仙台ディビジョン 金沢ディビジョン

中四ディビジョン 福岡ディビジョン

■自社工場

秋田ホーセ(株) 秋田ホーセ(株)琴丘工場 秋田ホーセ(株)大川工場 (株)秋田ジーンズ エドウィン小坂ジーンズ(株)

(株)秋北ジーンズ (株)弘前ジーンズ (株)みちのくジーンズ (株)津軽ジーンズ (株)青森ジーンズ (株)青森ジーンズ相野工場

(株)十和田ジーンズ (株)ジーンズMCD (有)京浜流通センター

■物流センター

エドウィン越ヶ谷物流センター エドウィン岡山物流センター エドウィン仙台物流センター MCD物流センター

■取り扱いブランド及び関連会社

株式会社エドウィン

EDWIN、SOMETHING、C-SEVENTEEN、GOLD RUSH、FIORUCCI SAFETY JEANS、LIBERTO、AMERICANINO 等

リー・ジャパン株式会社 TEL: 03-5604-8948

Lee、Wrangler

A&T INTERNATIONAL 株式会社 TEL: 03-3827-0881

carhartt、ALPHA INDUSTRIES INC.、Schott 等

弊社の創業は、1854年（安政元年）、綿糸の卸業を営んだことに始まります。以来、幾多の変遷をへて、“学生服”という衣料部門を柱に学校教育の一翼を担いつつ、今日の基盤を築いてまいりました。おかげをもちまして間もなく創業150周年を迎えることとなりました。

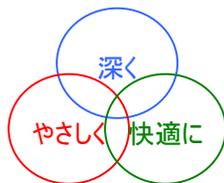
時代の流れとともに子どもたちを取り巻く教育環境はめまぐるしい変遷を遂げております。今日の高度な情報化社会、国際化社会において、学生服・スクールウェアは、高品質・高機能の追求はいうまでもなく、学校ごとのアイデンティティや地域性、生徒自身の個性を大切にはぐくむという重大な使命をおびています。

弊社は、こうした時代のニーズを機敏にキャッチし、より最適な製品をフレキシブルにご提案していくために、たゆまぬ経営努力を続けております。地球環境を配慮したエコスクール活動やそれにとまなう新ブランドの開発、そして企画・生産・販売の一貫体制など、万全の体制を構築し、さらなるチャレンジを続けてまいります。

●●経営理念

『OZAKIはユニフォームを通じて着る人に愉しさを提供します』

ユニフォームを着ることにより、仲間意識が生まれ、対話（コミュニケーション）が進み、また、ユニフォームでおしゃれな感覚を味わえるといった愉しさを提供します。



深く

社会に根付き、深く入り込む創造提案型企業

やさしく

地球環境を大切にし、顧客に満足してもらえる企業

快適に

個人が会社のために、会社が個人のために相互に楽しくやり甲斐のある企業

●●企業概要

創業	安政元年（1854年）
設立	昭和4年（1929年）
資本金	1億1,000万円
自己資本	137億円
代表者	代表取締役社長：尾崎眞一郎
売上高	311億円（平成13年度グループ連結）
事業内容	スクールウェア スポーツウェア などの各種衣料の製造販売
従業員数	2,736名（グループ）
本社所在地	〒711-8622 岡山県倉敷市児島田の口3-10-25
TEL	(086)477-6111
FAX	(086)477-5792
URL	http://www.ozakigp.co.jp/
支店所在地	札幌・仙台・高崎・名古屋・大阪・岡山・福岡
営業所所在地	札幌・岩手・仙台・福島・秋田・高崎・山梨・水戸・名古屋・静岡・松本・上田・大阪・京都・富山・岡山・米子・防府・徳島・松山・福岡・佐賀・大分・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄
工場所在地	倉敷・米子・都城・志布志ほか各地区尾崎縫製19衛星工場

●●環境への取り組み

弊社は平成 12 年 1 月環境マネジメントシステムの国際規格である

「ISO14001」を認証取得いたしました。

弊社は学校教育の一翼を担うメーカーとして、また地球にやさしい企業として、環境保護、省資源のスクールウェアを開発。ペットボトルを用いた再生繊維で業界初のエコロジー商品を生み出しました。さらに、さまざまな商品を開発し新たな展開を図っています。

今後も、エコロジー精神で地球環境問題へ積極的に取り組んでまいります。



ISO14001 認証取得
JQA-EM0693

環境基本理念

地球環境の悪化は、人類のみならず地球の存続までに影響を及ぼす深刻な問題です。弊社経営理念の中にある「やさしく」は、地球環境を大切にす企業を目指すことを意味します。我々はこの経営理念を果たすべく企業活動を行い、様々な取り組みを通して、次世代のために地球環境を守り広く社会に貢献します。

エコロジー活動経緯

	企業活動・営業支援活動	商品開発
1992 年	・エコロジー委員会発足	・学生服、女生服箱のコーティングを塩ビから無害コーティングへ移行開始。
1993 年		・ノンホルマリン素材「アレナイン」の開発、販売。
1994 年	・名刺、紙袋等を非木材紙(バガス等)に移行。	
1995 年	・「OZAKI グリーンメセナ 21」スタート。(環境保全の為に校庭植樹運動)。	
1996 年		・PET 再生繊維を使用した学校制服「エコスクールシャツ」を開発、学校提案。(制服上下・T シャツ) ・ノンホルマリン素材「ラ・モルフェ」使用による「健診インナー」発売。(同年 9 月、グッドデザイン賞認定を受ける。)
1997 年	・再生紙使用拡大。(DM、カタログ、パッケージ等)	・PET 再生樹脂を使用したシャツ、ポロシャツの開発。 ・「クラビオン」によるシャツ・ポロシャツの開発・販売。
1998 年	・社員の制服を、回収型リサイクル制服に更新。 ・グリーン購入ネットワークへの参加。	・エコログリサイクリングシステムに加盟。 ・紡績別、制服回収ネットワークに加盟。 ・ペットボトル再生樹脂を使用した制服が全国で初採用。(長野県内 4 中学校) ・商品にエコマーク取得。(スクールウェア・スポーツウェア) ・カンコーエコスクール詰衿学生服を開発・発売。
1999 年	・WWF への法人会員加盟。 ・WWF2000 生きているキャンペーン協賛。	・エコマーク取得商品の拡大(シャツ・ポロ・ニット) ・省エネを考慮したクールスクール、ウォームスクール企画商品の開発・発売。
2000 年	・ISO14001 認証取得。	・全国で制服回収ボックスの設置を開始。
2001 年	・OZAKI グリーンメセナ 21 (延べ 1020 校贈呈)	・省エネを考慮したクールスクール、ウォームスクール企画商品の拡大。

エコロジー企業活動

**「グリーンメセナ 21」を展開**

深刻な環境問題である地球の温暖化。この鍵となるのは二酸化炭素の吸収源となる森林の保護・育成です。弊社は教育環境整備の一環として、校庭に緑を増やし、自然のすばらしさや恩恵、環境保全の大切さを訴えています。

**エコロジー素材の採用**

弊社の販促物・ラベル・包装などは、非木材紙などの環境にやさしいものを使用しています。ツリーフリーマークを使用した物は売り上げの一部が森林保護基金として役立てられています。こうした企業の内側からの自然保護活動も推進しています。

**グリーン購入ネットワークへ参加**

環境にやさしい商品やサービスを優先的に購入する企業・行政・消費者のネットワークに弊社も参加し、グリーン購入に積極的に取り組んでいます。その一環として社員の制服にエコロジーユニフォームを採用し社員ひとりひとりの環境に対する意識向上を目指しています。

**(財)世界自然保護基金(WWF)支援**

WWF は世界最大の自然保護団体です。人類が自然と調和して生きられる未来を築くためにさまざまな活動を展開しています。弊社は「自然はともだちコンテスト」や「世界的自然保護活動への協賛」等を通じて WWF を支援しています。

■ 藤井毛織株式会社プロフィール ■

■ 事業内容 服地(カシミア織物、最高級織物)・ニット製品・紳士服(オーダー、プレタポルテ) 婦人服(プレタポルテ)の企画、製造、販売。

■ 沿革

1890年	泉州地区において創業
1951年	福泉工場にて紡毛一貫工場完成
1960年	中部技術センター開設
1973年	オーストラリア・タスマニアから世界最高品質羊毛 “ウイントン”の独占買付始まる
1986年	大阪・本町に新社屋完成
1990年	創業100年を迎える
1996年	オーストラリア・タスマニアのマウントモリストン牧場を取得
2002年	世界最高品質羊毛“ウイントン”連続買付30周年を達成

■ 代表者 代表取締役社長 藤井兼六

■ 事業所 大阪／東京／一宮

■ 資本金 1億円

■ 従業員数 150名

■ 関連会社 藤井毛織福泉(株)、フジイテキスタイル(株)、エフ・ケイ・ビブレ(株)などのファッショングループの他に、藤井興発(株)、高石自動車スクール、ABCスポーツセンターなどのアミューズメントグループ、フレックスジャパン(株)、ベスコ(株)などの人材グループがあります。

■ 会社所在地 <大阪本社>
〒540-0051 大阪府中央区備後町3-3-3 フジイビル
TEL.06-6268-11 FAX.06-6263-1116

<東京支社>
〒103-0012 東京都中央区日本橋掘留町2-7-1 フジイビル
TEL.03-3663-66 FAX.03-3663-6636

■ 製造と販売

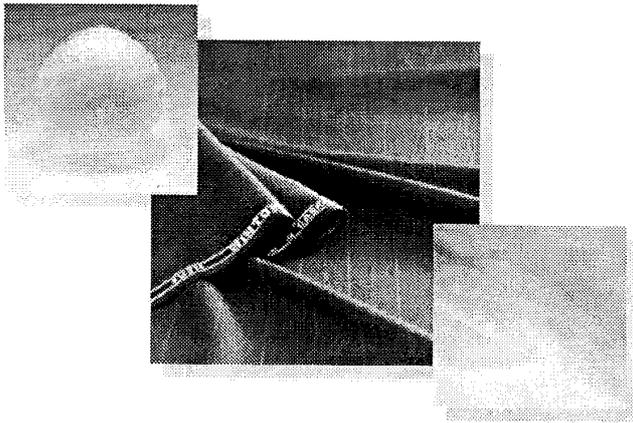
藤井毛織は羊毛、カシミア、アンゴラなど、自然界から得られる天然繊維を使って環境に調和した物作りをする企業です。

堺地区に紡績、染色整理工場を持ち、一宮地区に技術センターをおいて、生機ならびに特殊加工の管理を行い、梳毛及び紡毛毛織物の生産を行っています。

そして、主力商品であるカシミア、アンゴラ等の紳士・婦人コート地、ならびにウイントンを始めとするタスマニアスーパーファインウールを使った高級紳士服地をアパレル、専門店にむけて販売しています。

■ 商品

フジイのカシミアコート服地 “ピュアカシミア”



フジイのピュアカシミアは、美しい光沢感毛並み、最高の手触り感を出すために、良質の水に濡らしながら“植物のアザミの実”を使用して幾度も起毛を繰り返し、通常の5倍以上の時間と人の手を経て製造された、最高級カシミアコート服地です。



フジイのステイタスブランドです。タスマニアトップベールを使用した頂点商品です。厳格な管理のもとで毎年ごく僅かの量しか出市されないこのウールは他に比類のない世界最高品質の羊毛です。
(世界最高品質羊毛の30年連続買付の記録を達成しています。)

究極のフォーマル地、スーツ地など超細番手糸ならではの素材に使用されています。



経営指針

お客様とブラザーをつなぐキーワード



ブラザーの経営指針…それはお客様の満足です。

いつも CS (Customer Satisfaction・顧客満足) を基本にグループが力を合わせ、グローバルな視点で行動。お客様に満足いただくことで、私たちは成長し自然と共生する企業を目指して行く…。

私たちは今、真の「お客様第一」を実現するために新たな決意で歩み始めました。

もの創りを通じて優れた価値を創造し迅速に提供していくことがお客様とブラザーとの強い絆となり未来へ導く掛け橋となることを願って。

社内カンパニー紹介

社内カンパニー制を導入し、3つのカンパニーから世界中へ満足をお届けしています。

主要製品

Information & Document Company

ファクス、マルチファンクションセンター、プリンタ、キーボード、通信カラオケ、タイプライター

Personal & Home Company

電子文具、家庭用ミシン、健康関連製品

Machinery & Solution Company

環境への取り組み

21世紀を緑溢れる豊かな時代に…
企業市民として自然環境との共生に力を注ぐ



- Refuse (環境負荷となるものはなるべく購入しない)、
- Reduce (排出量を減らす)、
- Reuse (排出物をそのまま再利用する)、
- Reform (形を変えて別の用途に利用する)、
- Recycle (資源として再利用する)

の5Rを合い言葉に、環境にやさしく、リサイクルを考慮した環境調和型製品設計の推進、埋め立てごみゼロの達成など自然との調和、自然との共生(ともいき)を目指した企業努力を続けています。

工業用ミシン

工業用ミシン、工作機械

マシナリー・アンド・ソリューション カンパニー

ニーズを的確に捉え、お客様と共に
“問題解決”を図る

<http://www.brother.co.jp/jp/ism/ism.html>

社会構造が大きく変化する中、生産現場では生産性の向上、コストダウンはもちろん、生産工程のフレキシブルさが求められています。「マシナリー・アンド・ソリューション カンパニー」が掲げるミッションは“ソリューション（解決提案）”。生産現場でのニーズに応える製品の開発・提供だけでなく、システムやサービスまでトータルに問題を解決していきます。

・お客様の視点に立ち、アパレル機器業界をリード

「工業用ミシン事業」では本縫ミシンから自動機、さらには刺しゅう機までトータルアパレル機器メーカーとしてのラインナップを展開。各種工業用ミシンの電子化をいち早く実現し、衣類はもちろん、帽子から靴までのファッションをサポートしています。また**ブラザー縫製技術センター「ビースクエア」**では、人材育成をサポートする一方で、実際に縫製ラインを設け、縫製ノウハウや生産効率などを肌で感じ、製品や縫製システムの開発へとフィードバックしています。

・お客様は生産現場のプロ。

プロを上回る提案、プロに納得いただける提案を目指して「マシナリー・アンド・ソリューション カンパニー」は日々技術を磨いていきます。

ブラザー縫製技術センター

<http://www.brother.co.jp/jp/ism/bsq/bsq.htm>

国際化するアパレル産業界、ハイテク化する設備、めまぐるしく変化する消費者ニーズ・・・企業を取りまくさまざまな環境に対応できる人材の育成が求められています。

ブラザー縫製技術センター（ビースクエア）は、メカニックのための技術教育から、ものづくりのための管理セミナーやコンサルティングまで、各種技術サービスを行うと同時に、最新のショールームを備え、ファッション分野におけるより高度な情報の受発信基地として活動しております。

ブラザー縫製技術センターをぜひご活用いただきますようお願い申し上げます。



〒467-0847

名古屋市瑞穂区神穂町5番30号

TEL 052-824-2288 (代)

FAX 052-824-2272

・技術研修ご案内 <http://www.brother.co.jp/jp/ism/bsq/bsquare/index.html>

・交通ご案内 <http://www.brother.co.jp/jp/ism/bsq/html/bsq2.htm>

HOHSEI JOURNAL

・縫製ジャーナル（アパレル製造業様応援 PR 誌） <http://www.brother.co.jp/ism/journal/index.html>

グローバルネットワーク

・主な世界の拠点の住所、電話番号、FAX 番号

<http://www.brother.co.jp/jp/aboutbrother/overseas/index6.html>

・主な日本の拠点の住所

<http://www.brother.co.jp/jp/aboutbrother/japan/index5.html>

基本データ

会社概要

<http://www.brother.co.jp/jp/aboutbrother/data/index4.html>

社 名 ブラザー工業株式会社

本 社 名古屋市瑞穂区苗代町 15 番 1 号

〒467-8561 TEL 052-824-2511

<http://www.brother.co.jp/jp/>

創 業 明治 41 年（1908 年）

設 立 昭和 9 年（1934 年）1 月 15 日

資本金 19,209 百万円（平成 14 年 3 月 31 日現在）

従業員数 連結：15,015 人

（「中国・・・依頼生産方式」の従業員数を含む）

単独：3,197 人（平成 14 年 3 月 31 日現在）

売上高 連結：380,446 百万円

単独：236,690 百万円

（平成 14 年 3 月期）

▶ 会社案内（PDF 版）

<http://www.brother.co.jp/jp/aboutbrother/pdf/com.pdf>